



2023年11月9日

各 位

会 社 名 シンクレイヤ株式会社  
(コード番号:1724 東証スタンダード)  
(URL <https://www.synclayer.co.jp>)  
代 表 者 名 代表取締役社長 山口正裕  
問 い 合 せ 先 取締役管理本部長 藤原伸昭  
電 話 番 号 052(242)7875

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期通期連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)を、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日~2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,000	700	710	470	101.29
今回修正予想 (B)	10,100	430	450	315	67.89
増減額 (B-A)	△2,900	△270	△260	△155	
増減率 (%)	△22.3%	△38.6%	△36.6%	△33.0%	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	9,965	414	438	294	63.67

#### 2. 修正の理由

##### ・売上高に関する事項

トータル・インテグレーション部門において、複数の大型のFTTH工事案件が予定通り進捗することを前提に予想を作成しておりましたが、光ファイバーの敷設に関連した各種申請業務の遅延を背景に工事に投入される原価が想定を下回り、見積原価に対する投入原価の割合で収益を認識する完成工事高が当初連結業績予想を下回る(△300百万円)見通しとなったこと、また、当期において、CATV局向けヘッドエンド内設備構築案件の受注、着手を見込んでおりましたが、営業活動の長期化により当初予想を下回る見通し(△800百万円)となり、トータル・インテグレーション部門の売上高が当初予想を下回る見込みとなりました。

機器インテグレーション部門においても、CATV局に対して販売を行う一部他社商品(通信用光端末)の納期に関する見通しが当初想定から後ろ倒しとなり(△400百万円)、通信用光端末の納入遅れに付随する形で自社製品(放送用光端末)の販売数量が当初想定を下回りました(△300百万円)。また、2023年12月期においては業績拡大施策として、通信キャリア、ネットワーク関連商社に対して、光伝送装置(WDM装置)、通信用光端末等の販売拡大することを目標に

掲げ、第1四半期、第2四半期においては、想定通り販売が進捗いたしました。下期にかけて納入を行う案件を獲得することができず、通信キャリア等に対して販売する光伝送装置(WDM装置)及び通信用光端末等の販売目標数値を達成する見込みがなくなった(△900百万円)ことにより、機器インテグレーション部門の売上高が当初予想を下回る見込みとなりました。

・各種利益に関する事項

上記売上高に関する事項の通り、売上高が当初連結業績予想を下回る見通しとなったことに加え、直近の急激な円安の進行に伴い当初業績予想を下回る見込みとなりました。

これらを踏まえ、上記の通り2023年12月期の連結業績予想を修正いたします。

なお、当社グループを取り巻く事業環境については、依然としてCATV事業者におけるFTTH化、通信サービスの高度化に対するニーズが存在しており、連結受注残高についても堅調に推移しております。また、上記のニーズに対して積極的な営業活動を実施し、更なる案件獲得と各種管理の徹底に尽力いたします。

※上記予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましてはさまざまな不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上